

柿本委員（民主県政会）

令和4年3月8日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) 運動やスポーツが好きな児童生徒を増やすための取組について

県では、広島県児童生徒の体力・運動能力・運動習慣等の調査結果を受けて「運動やスポーツが好きな児童生徒を増加させるために、現在取組を進めている取組の充実を図っていく」としているが、具体的にどのように取り組んでいこうとしているのか、教育長に伺う。

(答)

県教育委員会では、児童生徒の生涯を通じて豊かなスポーツライフを継続することのできる資質能力を育成するため、

- ・ 教員を対象とした、児童生徒が体を動かしたくなる遊びのプログラムの研修
- ・ 児童生徒が運動などの楽しさに触れることのできるモデル授業の開発
- ・ トップアスリートを学校に派遣する出張授業の実施

などに取り組んでおります。

来年度は、引き続き、体を動かしたくなる遊びのプログラムの小中学校への普及を、計画的に推進してまいります。

また、開発したモデル授業につきましては、県教育委員会のホームページ上で公開するとともに、小中学校の体育指導を推進するリーダーの研修で取り上げるなど、全県に波及させるとともに、来年度は推進校を拡充してまいります。

このような取組を通じて、運動やスポーツ好きな児童生徒を増やす取組の充実を図ってまいります。